負荷の低い時間帯での**Storage Efficiency**処理の実行

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_run_storage_efficiency_operations_at_less_busy_times.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

負荷の低い時間帯でのStorage Efficiency処理の実行 1
Active IQ Unified Manager でストレージ効率化処理を比較的負荷の少ない時間帯にスケジュールする 1
Active IQ Unified Manager でのストレージ効率の概要 1

負荷の低い時間帯での**Storage Efficiency**処理の実行

Active IQ Unified Manager でストレージ効率化処理を比較的負荷の少ない時間帯にスケジュールする

Storage Efficiency処理に適用されるポリシーやスケジュールを変更して、影響を受けるボリューム ワークロードの負荷が低いときにStorage Efficiency処理を実行するように設定できます。

Storage Efficiency処理では、大量のクラスタCPUリソースが使用されて、処理を実行するボリュームの負荷が高くなることがあります。Storage Efficiency処理の実行中に、影響を受けるボリュームでアクティビティレベルが上がると、レイテンシが高くなってイベントがトリガーされる可能性があります。

イベント詳細ページのシステム診断セクションでは、QoSポリシーグループ内のワークロードをアクティビティのピーク偏差に基づいて表示し、負荷の高いワークロードを特定します。表の上部付近に「`storage efficiency`」が表示されている場合、これらの操作は対象となるワークロードに過負荷をかけています。ワークロードの負荷が低い時間帯に実行するように効率化ポリシーまたはスケジュールを変更することで、ストレージ効率化操作がクラスタ上で競合を引き起こすのを防ぐことができます。

効率化ポリシーの管理には、ONTAP System Managerを使用できます。効率化ポリシーとスケジュールの管理には、ONTAPコマンドを使用できます。

Active IQ Unified Manager でのストレージ効率の概要

Storage Efficiencyを使用すると、低コストで最大限のデータを格納し、スペースを節約しつつ、急増するデータに対応することができます。NetAppのストレージ効率化戦略は、コア オペレーティング システムであるONTAPとWrite Anywhere File Layout（WAFL）ファイルシステムが提供するストレージ仮想化とユニファイド ストレージに基づいています。

ストレージ効率には、シンプロビジョニング、Snapshotコピー、重複排除、データ圧縮、FlexClone、SnapVaultを使用したシンレプリケーションとボリュームSnapMirror、RAID-DP、Flash Cache、Flash Poolアグリゲート、およびFabricPool対応アグリゲートなどのテクノロジーの使用が含まれており、ストレージ利用率の向上とストレージコストの削減に役立ちます。

ユニファイド ストレージ アーキテクチャでは、Storage Area Network（SAN;ストレージ エリア ネットワーク）、Network-Attached Storage（NAS;ネットワーク接続型ストレージ）、および単一プラットフォーム上のセカンダリ ストレージを効率的に統合できます。

シリアルアドバンストテクノロジーアタッチメント（SATA）ドライブなどの高密度ディスクドライブは、Flash Poolアグリゲート内またはFlash CacheおよびRAID-DP技術を使用して構成することで、パフォーマンスや回復力に影響を与えることなく効率性を向上させます。

FabricPool対応アグリゲートには、ローカルのパフォーマンス階層としてオールSSDアグリゲートまたはHDDアグリゲート（ONTAP 9.8以降）が、クラウド階層として指定したオブジェクト ストアが含まれます。FabricPoolを設定すると、アクセス頻度に基づいてデータを格納するストレージ階層（ローカル階層またはクラウド階層）を管理するのに役立ちます。

シンプロビジョニング、Snapshotコピー、重複排除、データ圧縮、SnapVaultとVolume SnapMirrorを使用したシンレプリケーション、FlexCloneなどのテクノロジは、さらに削減効果を高めます。これらのテクノロジを個別に、または組み合わせて使用することにより、ストレージ効率を最大限に高めることができます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。